



速報

# 熊本地震・一周年報告会

## —熊本県・防災学術連携体と共同で開催

米田雅子

日本学術会議と防災学術連携体は、熊本県と共催で、熊本県庁において熊本地震・一周年報告会を開催した。各学会の調査結果を現地に報告するとともに、現地の状況を把握し、今後の復興や防災に寄与するためである。

### 一周年報告会の開催

2016年熊本地震は、震度7が2回、震度6弱以上が7回、余震の発生回数は4,000回を超えるなど、観測史上初の地震回数を記録した。2017年3月時点で、直接死50名、関連死174名、負傷者2,677名、住宅被害189,079棟と大きな被害をもたらした。

2016年4月14日、16日に発生した熊本地震から1年目にあたる2017年4月15日（土）に、日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会と防災学術連携体（防災に関わる55学会のネットワーク）は、熊本県と共催で、熊本県庁の大会議室において熊本地震・一周年

報告会を開催した。

目的は、地震・災害・救援・復興等に関わる30の学会の調査状況を地元の方々に伝えると共に、熊本県・熊本市からも復旧・復興に関わる報告を行い、関係者間で情報共有をはかり、今後の防災減災・災害復興に役立てることである。

当日の参加者は500名を超え、立ち見も出る程で、蒲島郁夫熊本県知事と大西隆日本学術会議会長の挨拶の後、和田章防災学術連携体代表幹事の趣旨説明、高橋和雄自然災害学会前会長の挨拶に続き、15学会の口頭発表、16学会のポスター発表（日本地震学会は口頭とポスターの両方で発表）、熊本県と熊本市の報告と、多くの質疑応答と熱気に満ちた会となった。5社のテレビ関連会社を含め17社の報道機関が取材した。

報告会終了後には、熊本県と学術関係者の意見交換会を行なった。熊本県からは、熊本地震のデジタルアーカイブ、震災ミュージアム、お



で報告会を開催したいとの提案があった。この実現に向けて、防災学術連携体の代表幹事と事務局長、土木学会、九州の会員・連携会員が動いた。そして、熊本県の担当者と知事公室の協力も得て、熊本県の公式行事「熊本地震 追悼・復興祈念行事」の一つとしての一周年報告会に至ったのである。

### 学協会連携と日本学術会議の責務

日本学術会議は、科学者間ネットワークを構築し、科学技術の成果を社会に普及させる使命を持っている。防災学術連携体の設立の背景には、この責務がある。

日本学術会議の会員選考は、2006年（第20期）に現在の「会員が次期の会員を選ぶ制度」に変更された。それ以前は学協会の推薦による

会員選考であり、学協会とのつながりが強かった。変更時に、学協会は「協力学術研究団体」となったものの、会員の改選を重ねるごとに、日本学術会議と学協会とのつながりの希薄化が懸念されている。

専門分化が続く学術界で、日本学術会議は、統合や連携を進める立場にある。人文・社会科学、生命科学、理学・工学の全分野を包含する世界でも稀有のアカデミーとして、分野を超えた連携を作る潜在力を持った組織である。防災学術連携体は、「防災」をテーマに日本学術会議が分野を超えて学協会連携を図ったもので、学協会との新たなつながりを示唆している。

防災だけではなく、第二、第三の目標を持った連携体が設立され、日本学術会議の責務が果たされることを期待したい。

## プログラム

<b>司会</b>	日本学術会議 熊本県	米田雅子 上妻清人
<b>主催挨拶</b>	日本学術会議会長 熊本県知事	大西 隆 蒲島郁夫
<b>趣旨説明</b>	日本学術会議	和田 章
<b>挨拶</b>	日本自然災害学会	高橋和雄

### I 学会発表

- ① 熊本地震の観測と現象解明
 

日本活断層学会	鈴木康弘
日本地震学会	松島信一
日本リモートセンシング学会	伊東明彦
- ② 地震の被災状況と対策について
 

日本建築学会	高山峯夫
空気調和・衛生工学会	木村 剛
日本機械学会	藤田 聡
土木学会	松田泰治
農業農村工学会	山下裕作
- ③ 土砂災害・風水害と対策について
 

日本森林学会	黒川 潮
砂防学会	丸谷知己
地盤工学会	北園芳人
- ④ 情報提供・避難・救援・復旧・復興について
 

日本災害情報学会	沼田宗純
日本集団災害医学会	近藤久禎
廃棄物資源循環学会	島岡隆行
日本地震工学会	目黒公郎

### II 熊本県・熊本市の発表

- 熊本県からの発表
- |           |     |      |
|-----------|-----|------|
| ① 災害時の対応  | 熊本県 | 間宮将大 |
| ② 復旧復興プラン | 熊本県 | 府高 隆 |
- 熊本市からの発表
- |            |     |      |
|------------|-----|------|
| ① 災害時の対応   | 熊本市 | 小原裕治 |
| ② 熊本城の再建計画 | 熊本市 | 網田龍生 |

### III 全体質疑

- 閉会挨拶** 防災学術連携体  
熊本県
- |      |
|------|
| 廣瀬典昭 |
| 坂本 浩 |

### ポスターセッション

- |            |                |
|------------|----------------|
| こども環境学会    | 佐久間治           |
| 地域安全学会     | 菅野 拓           |
| 地理情報システム学会 | 畑山満則           |
| 日本応用地質学会   | 黒木貴一           |
| 日本火災学会     | 廣井 悠           |
| 日本看護系学会協議会 | 宇佐美しおり         |
| 日本計画行政学会   | 山本佳世子          |
| 日本災害看護学会   | 石井美恵子          |
| 日本災害復興学会   | 中林一樹           |
| 日本地震学会     | 松本 聡           |
| 日本自然災害学会   | 久保田哲也          |
| 日本第四紀学会    | 吾妻 崇           |
| 日本地すべり学会   | 中村真也           |
| 日本造園学会     | 村上修一           |
| 日本地質学会     | 大橋聖和、小林健太、大坪 誠 |
| 日本緑化工学会    | 内田泰三、中村華子      |